

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【公開番号】特開 2013-117306 (P2013-117306A)

【公開日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報 2013-030

【出願番号】特願 2012-211999 (P2012-211999)

【国際特許分類】

F 1 6 G 13/06 (2006.01)

F 1 6 H 9/18 (2006.01)

F 1 6 G 1/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 G 13/06 E

F 1 6 H 9/18 Z

F 1 6 G 1/00 F

F 1 6 G 13/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 11 日 (2014.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向し、かつ互いの距離が変更可能な円錐面を有する 2 個のプーリと、
前記 2 個のプーリに巻き渡され、前記円錐面に挟持されるチェーンと、
を有する無段変速機であって、

前記チェーンは、開口を有する板形状のリンクがチェーンの周方向に沿って配置され、
かつチェーンの幅方向に複数枚が配列されて構成されたリンクユニットと、前記リンクの
両端において開口をそれぞれ貫通し、少なくとも一方が両端が前記円錐面に当接する 2 本
のピンとを有するチェーンエレメントを、チェーン周方向に隣接するチェーンエレメント
のうち一方のエレメントのピンを他方のエレメントのリンクの開口に通して連結して形成
され、

ピンの中心線方向の荷重に対する同方向のピンの単位荷重当たりの変形率が、 $1.3 \times 10^{-6} (1/N)$ 以上である、

無段変速機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の無段変速機であって、前記ピンがチェーンの周方向においてランダム
なピッチで配列されている、無段変速機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の無段変速機であって、前記ピンの単位荷重当たりの変形率が
、 $2.3 \times 10^{-6} (1/N)$ 以下である、無段変速機。

【請求項 4】

対向し、かつ互いの距離が変更可能な円錐面を有する 2 個のプーリと、
前記 2 個のプーリに巻き渡され、前記円錐面に挟持されるチェーンと、
を有する無段変速機であって、

前記チェーンは、開口を有する板形状のリンクがチェーンの周方向に沿って配置され、

かつチェーンの幅方向に複数枚が配列されて構成されたリンクユニットと、前記リンクの両端において開口をそれぞれ貫通し、少なくとも一方が両端が前記円錐面に当接する２本のピンとを有するチェーンエレメントを、チェーン周方向に隣接するチェーンエレメントのうち一方のエレメントのピンを他方のエレメントのリンクの開口に通して連結して形成され、

前記ピンと前記円錐面の接触点の位置が、前記プーリの径方向において、ピンの径方向寸法を１としたときピンの中心線から 0.16 以上、径方向外側にずれており、

ピンの中心線方向の荷重に対する同方向のピンの単位荷重当たりの変形率が、 $1.3 \times 10^{-6} (1/N)$ 以上である、

無段変速機。

【請求項５】

請求項４に記載の無段変速機であって、前記ピンがチェーンの周方向においてランダムなピッチで配列されている、無段変速機。

【請求項６】

請求項４または５に記載の無段変速機であって、前記ずれが 0.38 以下である、無段変速機。